

おひさま ニュース

2025

夏

号

7月15日発行



ホームページ

予約センター
(日曜・祝日除く)

☎0470-25-5121

平日 8:30~17:00

土曜 8:30~12:00

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <https://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

医療と生活を つなぐ

寄り添う医療・福祉相談室

安房地域総合相談センター長
香田道丸



安房地域医療センターは、安房圏域の中核病院として、地域住民の健康診断や外来診療、予定入院や手術等様々な医療サービスを提供していますが、最も大切な役割のひとつは安房地域の救急医療を守ることです。病気や怪我は予定通りにはいきません。思いがけない時にやってきます。そんな時の為に救急病院は24時間休むことなく働き続けていますが、病気や怪我に伴う不安や心配事は個々様々で、患者さま本人やご家族だけでは解決できないことが少なくありません。

安房地域総合相談センター 医療・福祉相談室は、当院の一角、患者さま駐車場からサエラ薬局の脇を上がり、大きな車庫を棟伝い進んだところに設置されています。

医療・福祉相談室の役割は、病状から発せられる患者さまやご家族の不安や心配事に寄り添うことです。具体的には、入院療養上の不安や、在宅での療養生活の相談、自宅退院の準備、自宅退院が難しい時の施設入所や転院の相談、復職・復学への不安、医療費や退院後の生活等について利用可能な医療費助成制度や社会資源の紹介、医療従事者への疑問や不満など、病院の総合相談窓口としてどんなご相談にも応じます。

医療・福祉相談室では、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士など）や退院支援看護師が、患者さまやご家族のお話を丁寧にお伺いしています。ご相談の内容によっては、適切な担当部署へおつなぎし、不安の軽減につながるよう対応いたします。

特に、重症な患者さまの集中治療などにおいて、当院の医療行為や治療方針に対して疑問やご不安を感じられる場合には、医療・福祉相談室に所属する医療メディエーター（看護師）がお気持ちに寄り添ったサポートを行います。

また当院では、入院前から患者さまの状況を把握し、入院後も早い段階で医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師が関わることで、退院後の生活に向けた課題を予測し、安心してご自宅や施設に戻れるよう支援しています。必要に応じて、介護保険サービスや障害福祉サービスの導入、ケアマネジャーとの連携やケア会議での情報共有、退院前後のご自宅訪問による課題確認やサービス事業者への申し送り、ご家族への介護指導なども行っています。

お困りの際は、どうぞお気軽に医療・福祉相談室をご利用ください。



診療科のご紹介

内科系	総合診療科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	膠原病・リウマチ内科	小児科	脳神経内科	呼吸器内科
	循環器内科	腎臓内科	糖尿病甲状腺内分泌内科	消化器内科	腫瘍内科	ドック・検診
外科系	外科	外科 肛門病センター	整形外科	スポーツ整形	婦人科	眼科
	泌尿器科	皮膚科	乳腺外科	脳血管内治療科		皮膚科
その他系	リハビリテーション	人工透析科	救急科	麻酔科		
専門外来	人工関節外来	脊椎外来	手の外科	骨粗鬆症外来	禁煙外来	総合スポーツ・運動処方外来
	ウロギネ・ヘルニア外来	発達相談				

眼 科

みなさま、「なんとなく見えにくい」などの目の不調はありませんでしょうか。

普段感じている目の不調が、病気の初期症状かもしれません。目の病気は単に「見えにくい」だけではありません。病気が進行してしまうとその症状から「読書ができず楽しみが減った」「自動車の運転が怖いので外出できない」「人の顔がわからないから人に会わないようにしている」などの制限が生まれ、日常生活の大きな障害になる場合があります。症状が悪化する前に、診察・治療を開始することが必要です。

当院でも、2025年4月から眼科センターとして診療を開始いたしました。眼科専門医を中心に、視能訓練士や看護師などによる専門チームが連携し、質の高い診療体制を整え、地域に根ざした医療の提供を目指しております。診療内容は、白内障・緑内障・網膜疾患

などの一般的な眼科診療から、白内障手術、眼内注射、レーザー治療といった治療まで幅広く対応しております。

目の病気には、進行しないと自覚症状が現れず、気づいたときには進行していたといったことも多くあります。ご自身や家族の目の健康不安をそのままにせず、ぜひ一度、ご相談ください。

【外来診察日】

	月	火	水	木	金	土
午前	岡野	岡野 再診のみ	岡野	岡野 再診のみ	岡野	
午後		岡野 再診のみ		手術		

ご予約はお電話にて承ります。予約 0470-25-5121

おかの かな
岡野 香那 眼科 医長

出身地：東京都

趣味：ゴルフ

房総の好きなおところ：ぜひ皆さんの
おすすめを教えてください！



コラム目の健康情報 ①

はくないしょう
白内障

視能訓練士
景山由貴

白内障とは、目の中にある「水晶体」と呼ばれる透明なレンズが濁ってしまう病気です。最も多い原因は加齢で、年齢を重ねると誰でも少しずつ水晶体が濁っていきます。

症状としては、視界がかすむ、光がまぶしく感じる、物が二重に見えるなどがあります。進行すると視力が低下し、日常生活に支障をきたすこともあります。

治療の中心は手術です。濁った水晶体を超音波で細かく砕いて取り除き、代わりに人工のレンズ(眼内レンズ)を入れます。多くの場合、日帰りでの手術が可能です。手術に痛みはありません。

手術前には、目の状態を詳しく調べるためにいくつかの検査を行います。安全で効果的な治療を行うために、医師やスタッフが連携して準備を進めます。



視覚の専門職「視能訓練士」

視能訓練士 景山 由貴

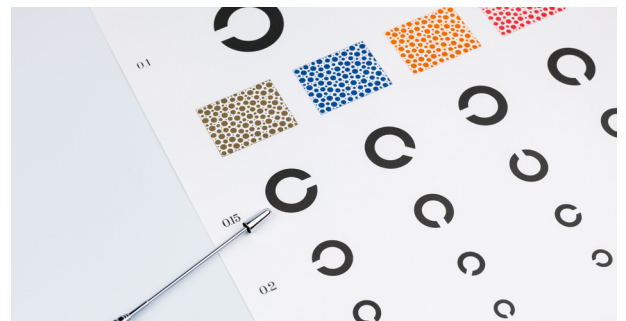
視能訓練士(Certified Orthoptist)は、視覚に関する専門知識と技術を有し、主に眼科領域で医師の指示のもとに視機能検査や矯正訓練を行う医療技術者です。乳幼児期から高齢者まで世代を超え、視覚の健康を守るサポートを行っています。具体的な業務内容には、主に①視能検査、②視能矯正、③ロービジョンケアの3つに分かれています。

①視能検査では、視力検査、屈折検査、眼圧測定などの一般検査から、眼の奥の画像を撮影する眼底画像診断、視野検査、色覚検査、眼位・両眼視機能の評価などの精密な特殊検査もあります。また、緑内障や網膜疾患のスクリーニング、白内障手術前後の経過観察時の検査など、医師の診断や治療の補助的役割も担っています。

②視能矯正は、小児の視機能検査を行い、弱視や斜視に対しての視力向上や、正常な両眼視機能の獲得を目的とした視能訓練を行います。

③ロービジョンケアは、眼疾患や外傷などから視機能が低下し生活に支障がある人に対して視覚補装具などの選定や使用方法のアドバイスなどを通しサポートしています。

視能訓練士になるには、厚生労働大臣が指定する養成施設で3年以上学び、国家試験に合格する必要があります。近年では、高齢化や小児の視機能障害の早期発見・対応の重要性が高まっており、医療機関や特別支援教育の現場での需要が拡大しています。視能訓練士は、専門性とチーム医療の一翼を担う人材として、今後ますます重要な役割を果たす職種です。



おひさまキッチン

調理師
戸村恵美

小さくても栄養豊富なブルーベリーと豆腐で
ベイクドチーズケーキ風のデザート

<作り方>

【タルト生地】

- クッキーを二重にした袋にいれ、すりこぎ等で細かく砕く。
この時にくるみやナッツを混ぜるとアクセントに。
- 型の底に砕いたクッキーを敷き詰め、くるみ・ブルーベリージャムをまんべんなくのせる。

ジャムはイチゴ・マーマレードなど
お好みのものでもおいしい♡

【クリーム生地】

- 豆腐をボウルに入れ泡立て器で崩す。つぶが残っていても大丈夫。
- 卵、砂糖、薄力粉を入れ混ぜ、レモン汁を入れてよく混ぜたらタルトの上に流し入れる。
- 180℃に予熱したオーブンで30分焼く。

*フォーク等をまん中にさして、生地がついてこなければOK!
オーブンの余熱で10分程おき、冷やしたら完成!!



直径 20cm の浅い型 1 つ分：8 等分
エネルギー 168kcal、塩分 0.2g

<材 料>

【タルト生地】

- クッキー……………1 袋
- くるみ……………お好み
- ブルーベリージャム…………お好み

【クリーム生地】

- 絹ごし豆腐……………1 丁 (330g)
- 薄力粉……………大さじ 3
- 上白糖……………大さじ 4
- 卵……………1 個
- レモン汁……………大さじ 2



婦人科新入医師着任

7月より、元亀田メディカルセンター産婦人科部長の古澤嘉明医師が当院婦人科部長として着任いたしました。古澤医師は、亀田メディカルセンターで初めて腹腔鏡下手術の技術認定を取得した医師で、産科から婦人科までの様々な疾患に対応する産婦人科医として患者さまや医師から厚い信頼を得ています。臨床医としてのみならず、指導医としても高い評価を得ており、着任後は手術や外来診療を中心に、教育を含めて多くの活躍が期待されています。

【外来診療日】

	月	火	水	木	金	土
午前	古澤	古澤		清水		亀田 [※] 1・3・5週
午後	古澤	清水	清水	清水 [※] 亀田	亀田 [※]	亀田 [※] 2・4週

※骨粗鬆症外来／清水医師は木午後のみ、亀田医師は木・金・土午前も可能です。土曜日は変則的となります。詳しくは予約時にお尋ねください。

小児科 WEB 予約実施中

小児科外来では、診察券をお持ちの方を対象にWEBでの予約を実施しています。

このWEB予約は、予約時間内での診察完了をお約束するものではなく、その時間内にご来院し、受付後にお待ちいただくご案内となります。現在は月・火・水・土のみ、1週間前から予約が可能です。

詳しくは、当院ホームページ、院内で配布しているチラシをご覧ください。

ホームページ ▶
WEB 予約ページ



WEB 予約 ▶
(外部サイト)



編集後記



おひさまニュース
バックナンバー

2013年9月に発行したおひさまニュース創刊号から「じゅんべりい」というペンネームで編集後記を担当しています。このペンネームは自宅の庭で毎年変わらず6月になると真っ赤な実を付ける「ジュンベリー」と筆者の名前が似ていたので少し変えて使っています。植物の彩

awa-cafe プロジェクト 活動報告



当院の医師・看護師・医療スタッフによるボランティアチーム「awa-cafe プロジェクト」は、地域のみなさまとのつながりを大切にしながら、さまざまな活動を行っています。

3月30日(日)にはイオンタウン館山で「安房カフェ保健室」を開催し、4月29日(火・祝)には「そだてタウン2025」に健康相談ブースを出店しました。どちらのイベントでも、多くの来場者の方々と交流することができました。



今後も、地域のみなさまとの対話を通じ、健康づくりや地域連携の輪を広げていけるよう、活動を続けてまいります。

子どもの権利とお約束

当院では病院の質向上を通じて、子どもを含むすべての患者さまが安心して適切な医療を受けられる環境の整備に取り組んでいます。その中で、子どもの権利保護を推進する憲章として、「子どものみなさんと病院のお約束」を2025年4月1日付で制定いたしました。

この文書は本館および救急棟玄関、小児科外来待合室内に掲示しており、当院のホームページにも掲載しております。



りと香りは季節の訪れや変化を知らせてくれます。おひさまニュースは新年、春、夏、秋と年4回季節毎に発行し、各ページの記事は、安房地域医療センターの今の取り組みや出来事をお知らせしています。



じゅんべりい